

43rd Annual Meeting of the Japan Society of Facial Nerve Research

第43回

日本顔面神経学会

テーマ **温故知新**

プログラム



ハイブリッド開催

現地開催 / 2020年 9月 29日(火) ~ 10月 1日(木)

会場 / 道後温泉 大和屋本店 (松山市)

Web開催 / 2020年 10月 15日(火) ~ 10月 21日(水)

会長 / 羽藤 直人 愛媛大学耳鼻咽喉科
・頭頸部外科 教授

事務局 / 愛媛大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科
〒791-0295 愛媛県東温市志津川 454
URL : <http://www.fnr.umin.jp/43rd/>

第43回日本顔面神経学会 プログラム・抄録集

会期：2020年9月29日（火）～10月1日（木）

会場：大和屋本店（松山市）

〒790-0842 愛媛県松山市道後湯之町 20-8

会長：羽藤 直人

愛媛大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 教授



ご 挨拶

第 43 回日本顔面神経学会 会長 羽藤 直人
(愛媛大学医学系研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 教授)

第 43 回日本顔面神経学会の開催準備に際しましては、お力添えを賜り、心より御礼申し上げます。

本学術集会および総会は、令和 2 年 5 月 28 日、29 日に開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 拡大のため、令和 2 年 9 月 29 日 (火) 午後～10 月 1 日 (木) 午前の延期日程で、松山市の道後温泉「大和屋本店」にて開催させて頂くこととなりました。今後も COVID-19 の流行は予断の許さない状況ですので、現地開催と Web 開催のハイブリッド方式で開催する予定です。大和屋本店の会場では三密回避対策を行います。熱発や体調不良がある方はご来場を自粛頂ければ幸甚に存じます。会場にお越し頂けない発表者の方は、令和 2 年 9 月 15 日までに音声付パワーポイントファイルを事前登録いただければ、質疑応答は困難ですが、会場でご演題をリモート発表させて頂きます。また、一部のスポンサードセミナーを除き、現地開催の内容を 10 月 15 日 (木)～21 日 (金) の間、Web 開催としてお届けさせて頂きます。領域講習の単位取得は、現地参加では全て、Web 参加でも一部可能ですので、皆さま奮ってご参加ください。参加登録は、学会ホームページからの事前登録と当日会場での登録の、どちらも可能としております。登録いただいた方は、現地開催と Web 開催の両方に参加可能ですので、現地開催で聴講できなかった内容を、後日 Web で確認することも可能です。なお、本学会の特性上、顔写真や動画等の個人情報が多いと思われそうですが、Web 開催ではモザイク加工してお届けする予定です。新たな試みですので、ご迷惑、ご不便をおかけすることも多々あるかと思いますが、ご容赦いただければ幸いです。なお今後、感染状況に変化が生じ、開催方法にも変更が必要な場合には、随時決定事項をホームページに掲載いたします。本感染症が少しでも早く収束することを願っております。

なお、本学会開催に際しまして、以下の新型コロナウイルス感染拡大の防止策にご協力、ご理解いただければ幸いです。

- 1) 熱発や体調不良がある方はご来場を自粛ください。
- 2) マスク着用でのご来場をお願いいたします (会場でもマスクの準備をいたしますが枚数に限りがございます)。
- 3) 会場内に手指消毒液を設置いたしますので、ご利用をお願いいたします。
- 4) 会場内は可能な範囲で換気を行います。
- 5) 通常より座席数を減らし、椅子の間隔を広げます。
- 6) ランチョンセミナーでのお弁当はご提供予定です。懇親会は残念ながら中止とさせて頂きます。

さて、本会の松山市での開催は、顔面神経研究会時代の 1985 年に、第 8 回を柳原尚明先生が開催されてから 35 年来、2 度目となります。この間に本会は研究会から学会に移行、規模も拡大し、より重要な学術集会に発展して参りました。耳鼻咽喉科、形成外科、脳神経外科、脳神経内科、リハビリテーション科、麻酔科などの多領域連携に加え、解剖学や発生学、ウイルス学等の基礎医学、近年では理学療法士や言語聴覚士などの参加者も増え、より学際的な特色が色濃くなってきております。恒例となりました顔面神経麻痺リハビリテーション技術講習も第 11 回を迎え、今回からは参加者に受講証明書をお渡しできる予定です。

第 43 回の日本顔面神経学会は「温故知新」をテーマとさせていただきました。Neuroscience としての顔面神経学を極め更に発展させるには、過去の優れた知見を振り返り、新たな一歩を踏み出す必要があります。幸いなことに日本顔面神経学会には、Facial Nerve Research Japan という機関誌に、必要十分な記録と歴史が集積されています。過去 42 回分の誌面を読み返し、あらためて本学会の世界に誇れる優れた業績を認識し、これまでの集大成ともいえる学術集會にできればと考えております。要望演題として「研究会時代のリバイバル演題」を募集したところ、令和の時代にアップデートされた多数の優れた演題登録をいただきました。

特別企画としては、村上信五元理事長から「顔面神経麻痺—過去・現在・未来—」、名古屋大学手の外科学の平田 仁教授からは「末梢神経外科の歴史、現状、展望」というタイトルで、特別講演を頂く予定です。シンポジウムやパネルディスカッションとしては、「Bell 麻痺・Hunt 症候群の後遺症に対する形成外科的アプローチ」、「フィジカルセラピーの新展開」、「Hunt 症候群の治癒率向上への挑戦」、「鼓索神経の謎に迫る」、「新しい顔面神経麻痺評価法と柳原法の融合」、「手術 VTR セッション—顔面神経の扱い方—」など盛り沢山の企画を準備しております。それぞれ各領域を代表する演者の先生方から興味深いご発表をいただける予定です。また、2021 年 5 月 19 日から 22 日に韓国ソウルで開催予定の 14th International Facial Nerve Symposium の日韓合同キックオフセミナーを開催いたします。

「道後温泉」は 3000 年の歴史ある日本最古の温泉で、アルカリ性単純泉のなめらかな湯質は、疲労回復や美肌の効能があり、「美人の湯」としても知られています。日頃のお疲れを癒しつつ学会に参加し、英気と英知を養っていただければ幸いです。9 月末の愛媛は気候的にも過ごしやすく、瀬戸内の海の幸や石鎚山麓の山の幸にも恵まれたベストシーズンです。多くの皆様にお越しいただき、「温泉」「湯上りビール or ポンジュース」「学会」の幸せのトライアングルを楽しんでいただきたいと思います。なお、本会は究極のクールビスの浴衣でのご参加も歓迎いたします。リラックスしつつ、マスク着用ではありますが熱い議論で本会を盛り上げていただければ幸いです。皆様のご来松を、心よりお待ちしております。

開催概要

学会名：第43回日本顔面神経学会

第11回顔面神経麻痺リハビリテーション技術講習会

(学会ホームページ：<http://www.fnr.umin.jp/43rd/>)

会期：2020年9月29日(火)～10月1日(木)

会場：大和屋本店(松山市)

〒790-0842 愛媛県松山市道後湯之町20-8

TEL：089-935-8880

会長：羽藤直人(愛媛大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科教授)

事務局：愛媛大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科

〒791-0295 愛媛県東温市志津川454

TEL：089-960-5366

FAX：089-960-5368

E-mail：fnr43@amsys.jp

(事務局長 山田啓之)

委員会・総会のご案内

1) 理事会

日時：9月29日(火) 10:00～11:50

会場：大和屋本店 1階「天鼓の間」

2) 評議員会

日時：9月30日(水) 12:20～13:20

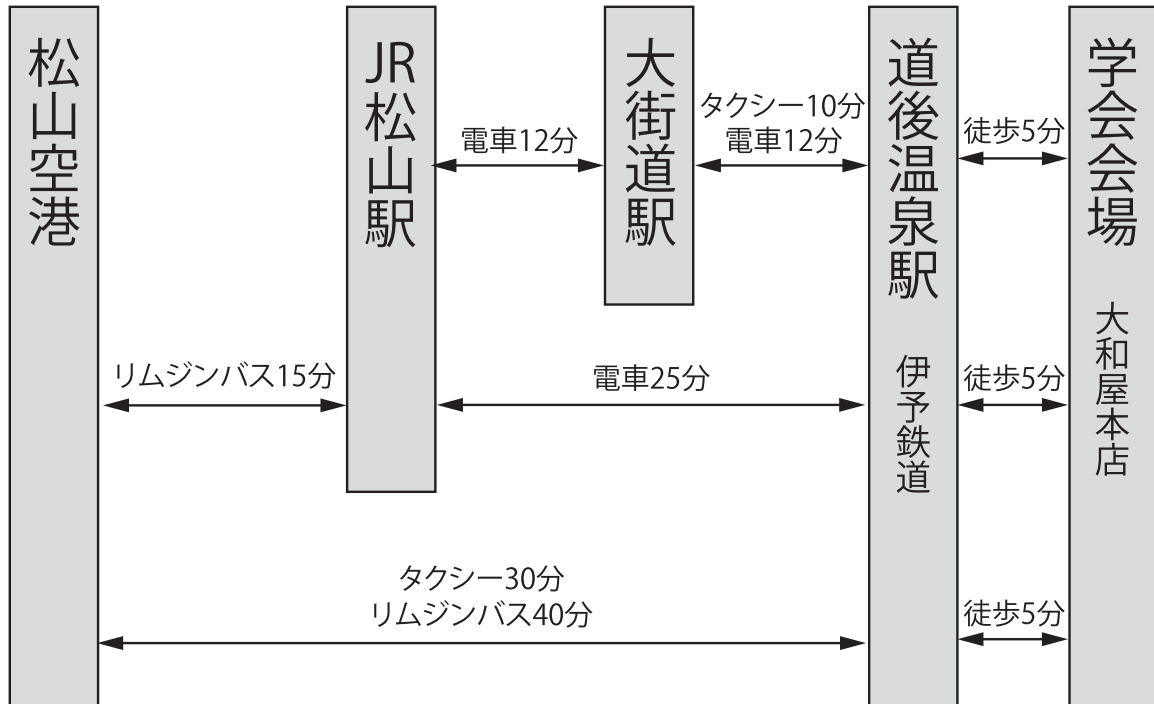
会場：大和屋本店 4階「杜若の間」

3) 総会

日時：9月30日(水) 13:30～14:00

会場：大和屋本店 2階 第1会場「大和の間(北)」

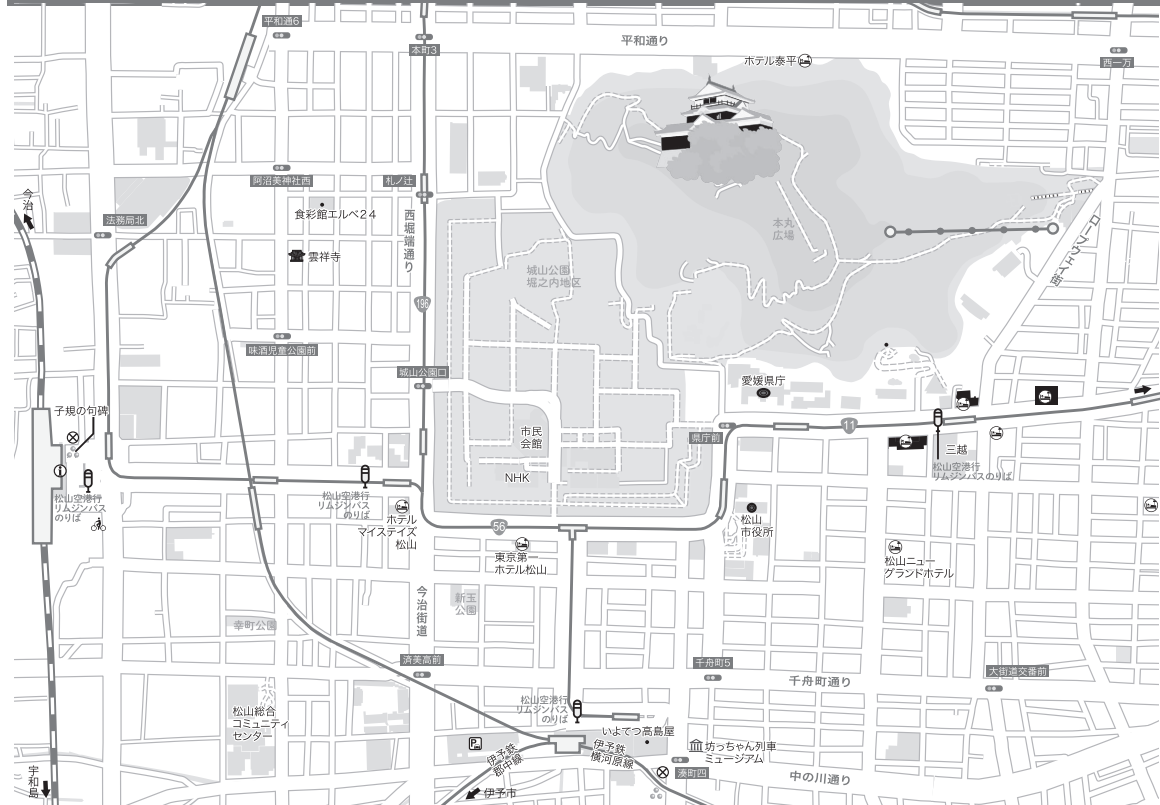
アクセス



詳細MAP (道後)

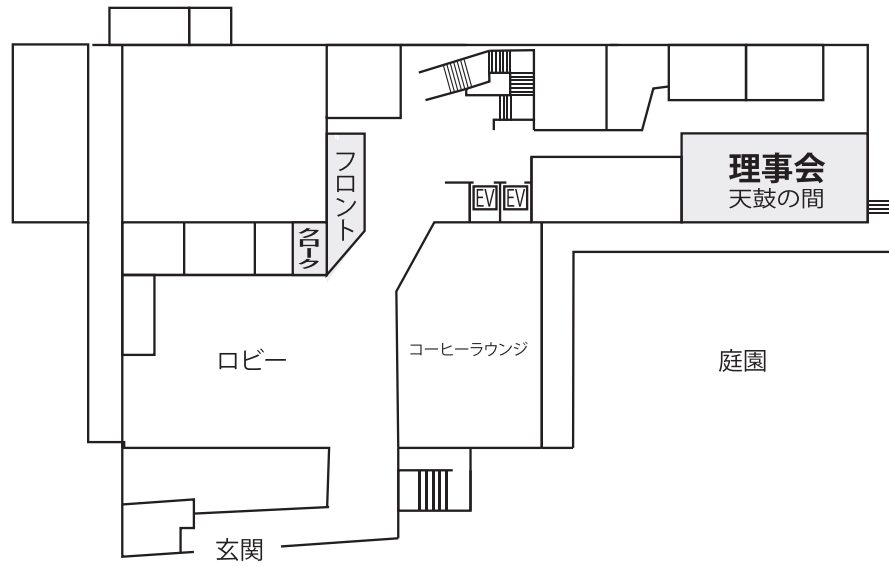


詳細MAP (松山市中)

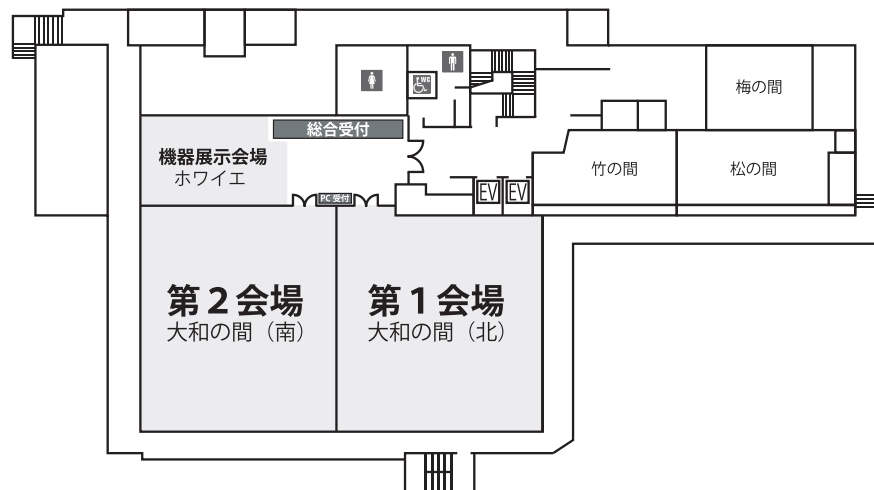


会場図

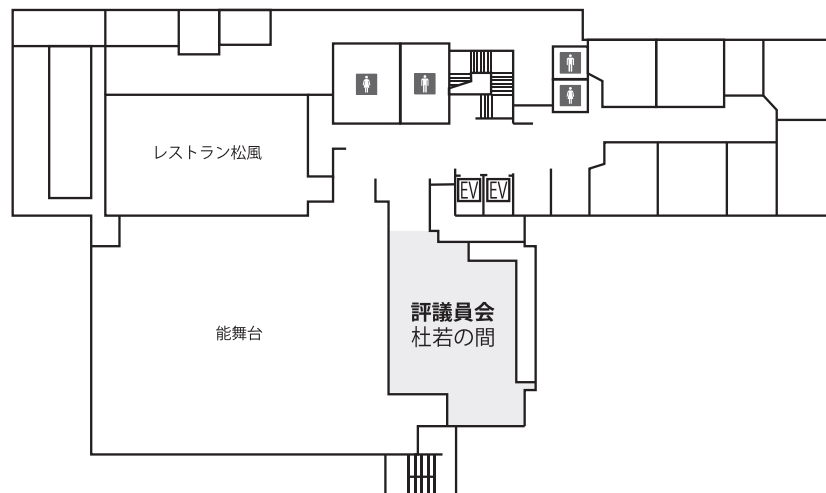
1 階



2 階



4 階



日程表 1 日目

2020 年 9 月 29 日 (火)			
	第 1 会場 [2 階 大和の間 (北)]	第 2 会場 [2 階 大和の間 (南)]	機器展示 [2 階 ホワイエ]
9:00			
10:00	10:00~11:50		
11:00	理事会 (1 階 天鼓の間)		
12:00	11:55~12:00 開会式		
	12:00~13:00 領域講習㊟ 特別講演 1(ランチョンセミナー) 末梢神経外科の歴史、現状、展望 演者：平田 仁 司会：垣淵 正男 共催：ニプロ株式会社	12:00~13:00 領域講習㊟ 特別講演 1(ランチョンセミナー) 末梢神経外科の歴史、現状、展望 サテライト講演	12:00~17:00
13:00	13:10~14:40 領域講習㊟ パネルディスカッション 1 Bell 麻痺・Hunt 症候群に対する 形成外科的アプローチ 一治療指針作成に向けて一 司会：多久嶋 亮彦/濱田 昌史	13:10~14:00 一般演題 第 2 群 基礎・教育 座長：北原 紘/小森 正博	企業展示 書籍展示
14:00		14:10~14:40 一般演題 第 3 群 薬物治療 座長：信太 賢治/稲垣 彰	
15:00	15:00~16:20 領域講習㊟ パネルディスカッション 2 新しい顔面神経麻痺評価法と柳原法の融合 コメンテーター：柳原 尚明 司会：欠畑 誠治	14:50~16:00 一般演題 第 4 群 形成外科手術 座長：朝戸 裕貴/松田 健	
16:00			
17:00	16:30~17:30 一般演題 第 1 群 要望演題 座長：暁 清文/脇坂 浩之	16:30~17:30 一般演題 第 5 群 評価 1 座長：國弘 幸伸/本多 伸光	
18:00			
19:00			
20:00			

日程表 3 日目

2020 年 10 月 1 日 (木)			
	第 1 会場 [2 階 大和の間 (北)]	第 2 会場 [2 階 大和の間 (南)]	機器展示 [2 階 ホワイエ]
9:00	9:00~10:10 一般演題 第 11 群 統計・解析 座長：阿部 靖弘	9:00~12:30 第 11 回顔面神経麻痺 リハビリテーション講習会 司会：森嶋 直人／立花 慶太	9:00~12:00 企業展示 書籍展示
10:00	10:10~11:00 一般演題 第 12 群 頭蓋底手術 座長：橋本 省		
11:00	11:10~12:20 手術 VTR セッション 顔面神経の扱い方 司会：朝戸 裕貴 河野 道宏		
12:00	12:20~12:25 閉会式		
13:00			
14:00			
15:00			
16:00			
17:00			
18:00			
19:00			
20:00			

参加者の皆様へ

はじめに：

本学会は COVID-19 の拡大防止に向けた対策として、従来の**現地開催**（会場に集まってご発表いただく形式）と、**Web 開催**（現地開催後にオンデマンドで学会の演題をご自分のパソコン等で視聴していただく形式）とを併用するハイブリッド開催といたしました。

また、やむを得ず愛媛県にお越しになれない発表者の方には**現地発表**の代わりに**収録発表**を行っていただくことといたしました。収録発表では質疑応答がありませんので発表単位については各学会で異なります。本抄録や本学会ホームページ、各学会のホームページにてご確認ください。

開催方式や発表形式、単位付与に関して末項に表を記載しておりますのでご確認ください。

現 地 開 催

現地開催参加者・演者の方へ

9 月末の松山は残暑厳しく、クールビズでお越しください。浴衣でのご参加も歓迎いたします。ただし、マスクはご着用ください。

1. 参加資格

本学会に現地参加される方は全員、現地で参加登録を行ってください。

また、一般演題の全ての演者は日本顔面神経学会の正会員に限ります。

正会員でない場合は、日本顔面神経学会の Web サイトの「入会案内」をご覧のうえ、入会手続きをお願いいたします。（日本顔面神経学会 URL：<http://www.fnr.umin.jp/member/app.html>）

2. 参加受付

開設場所：大和屋本店 2 階ロビー

開設時間：2020 年 9 月 29 日（火） 11:00 ～ 17:00

2020 年 9 月 30 日（水） 8:00 ～ 18:00

2020 年 10 月 1 日（木） 8:00 ～ 11:10

3. 参加費

第 43 回日本顔面神経学会

医 師 15,000 円

医師以外 10,000 円

医学生・初期臨床研修医 無 料※1

第 43 回日本顔面神経学会にご参加いただいた方は、第 11 回顔面神経麻痺リハビリテーション技術講習会にも参加可能です。HP 上で事前リハビリテーション技術講習会事前参加登録をお願いいたします。

HP から Web 開催参加用に事前参加登録された方へ

現地開催へお越しになる場合は、Web 開催参加のために支払い済みであることの証明として「決済手続きが完了」メールをプリントアウトしご持参ください。

なお、Web 開催で申し込まれた方が現地参加される際は、単位付与の重複を避けるため、現地での単位取得のみとさせていただきますこと、ご了承ください。

1) 参加証

参加費と引き換えに参加証をお渡しいたします。

また、参加証の氏名・所属欄にご記入のうえ、会場内では必ずご着用ください。

参加証を付けていない方には係員が声をかけさせていただきます場合があります。

なお、参加証、および領収証等の再発行は行いませんので、紛失などにお気を付けください。

2) 学生証明書（※ 1）

医学生、および初期臨床研修医の方は、当日の受付にてご本人の確認ができる書類（学生証、身分証明書）をご提示ください。

3) プログラム抄録集

参加費には、プログラム抄録集の代金は含まれておりません。

日本顔面神経学会員の皆様には、プログラム・抄録集を事前に送付しておりますので、学会当日は必ずご持参ください。お忘れになった場合や紛失等の場合、別途ご購入となります。

別途ご希望の方には販売を行いますが、部数に限りがございますので予めご了承ください。

4. 駐車場

学会参加者の割引サービス等はありません。

会場近隣の駐車スペースも限りがございますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

5. クローク

場所：大和屋本店 1階フロント

時間：9月29日（火）9:30～18:00

9月30日（水）8:00～19:00

10月1日（木）8:00～12:50

備考：貴重品・パソコンはご自身で管理してください。

お預けになった荷物は、当日中にお引き取りください。

6. 「単位付与される講習」についてのご案内

本学会は、日本専門医機構の領域専門医更新における、日本耳鼻咽喉科学会に関連する学会、日本形成外科学会に関連する学会としての出席単位が認められています。

また、日本ペインクリニック学会の認めた専門医資格更新のための生涯教育基準点数（3点）を有します。

日本理学療法士協会、日本作業療法士協会、日本言語聴覚士協会それぞれの関連学会・講習会と

しての参加・受講ポイントにつきましては学会 HP (<http://www.fnr.umin.jp/43rd/>) をご参照ください。
末項に各学会の単位付与に関して表を記載しております。

※現地開催に参加された方の Web 視聴について

現地開催に参加された方は、ネームカードに記載された ID 番号とパスワードで Web 学会（2020 年 10 月 15 日（木）～10 月 21 日（水））を視聴することが可能です。ただし、参加単位、領域講習等の専門医単位につきましては現地参加でのご取得のみとなり、Web 学会の視聴時は単位付与の対象となりませんのでご注意ください。

日本専門医機構耳鼻咽喉科領域講習単位は以下のセッションで取得できます（上限 2 単位）。

【対象プログラム】

9 月 29 日（火） パネルディスカッション 2 「新しい顔面神経麻痺評価法と柳原法の融合」

9 月 30 日（水） シンポジウム 2 「Hunt 症候群治癒率向上への挑戦」

9 月 30 日（水） 特別講演 2（スポンサードセミナー）「顔面神経麻痺—過去・現在・未来—」

日本専門医機構形成外科領域講習単位は以下のセッションで取得できます。

【対象プログラム】

9 月 29 日（火） 特別講演 1（ランチョンセミナー）「末梢神経外科の歴史、現状、展望」

9 月 29 日（火） パネルディスカッション 1 「Bell 麻痺・Hunt 症候群に対する形成外科的アプローチ—治療指針作成に向けて—」

10 月 1 日（水） 手術 VTR セッション「顔面神経の扱い方」

1) 日本耳鼻咽喉科学会専門医

2019 年より学会参加登録（日耳鼻専門医）と専門医講習参加登録に会員情報新システムが導入されました。「日本耳鼻咽喉科学会会員カード（IC カード）」を必ずご持参ください。「日本耳鼻咽喉科学会認定耳鼻咽喉科専門医証（旧カード）」は使用できません。これらの登録は専門医が対象です。



(1) 「IC カード」による登録が必要な時

① 学会参加登録：学会会場に来場時。総合受付横で行います（2 階）。

② 専門医講習受講登録：耳鼻咽喉科専門医領域講習の受講の入退室時に入退室時の登録は会場後方の出入口で行います。

なお、②に先立って、①の登録が必要です。

(2) 「IC カード」の使用方法

カードリーダー上にカードを置くと、接続されたコンピュータ上に所有者名前が表示されますので、コンピュータ画面を確認してからカードを取ってください。

(3) 「IC カード」を忘れた時

総合受付（2 階）までお越しください。

2) 日本形成外科学会専門医

講習受講をご希望の方は、講演開始時間までに申込書にご記入いただき、総合受付の専門医受付にて学会参加証をご提示の上、お申込みください。

対象講演終了後、受講証明書の上半分を切り取り、会場出口でご提出ください。

※受講料は各講習とも無料です。

※受講証明書が不要な場合は、受付の必要はありません。

7. 第 11 回顔面神経麻痺リハビリテーション技術講習会

日時：10 月 1（木）9:00 ～ 12:30

会場：大和屋本店 2 階 第 2 会場 [大和の間（南）]

定員：84 名

リハビリテーション技術講習会にのみ参加 5,000 円

参加方法：事前参加登録制 詳しくは学会 HP (<http://www.fnr.umin.jp/43rd/>) をご参照ください。
(当日会場に空きがある場合に限り当日参加も可能ですが、参加をご希望の方は事前の参加登録をお願いいたします。)

※第 43 回日本顔面神経学会出席の方は、第 11 回顔面神経麻痺リハビリテーション技術講習会にも参加可能です。HP 上で事前リハビリテーション技術講習会事前参加登録をお願いいたします。

8. その他

1) 写真撮影・録音・録画

会場内では原則禁止とさせていただきます。

2) スマートフォン・携帯電話・PHS

講演会場内では、電源をお切りいただくか、マナーモードへの設定をお願いいたします。

3) 質疑応答

質問・発言を希望される方は、予めマイクの前で待機してください。

座長の指示に従い、所属・氏名を述べてからご発言ください。発言は簡潔にお願いします。

後日 Web 開催としてオンデマンドで配信される時に質疑・応答も収録される場合がございますこと予めご了承ください。

4) ランチョンセミナー

整理券の配布はありませんので、当日直接会場にお越しください。

司会・座長の方へのご案内とお願い

指定演題、一般演題（口演発表）の座長・司会の方へ

1. ご担当セッションの開始 10 分前までに会場右手前の「次座長席」にご着席ください。
2. 一般演題（口演）の発表時間は 7 分、質疑応答は 3 分です。
3. 遅延のないように、セッションの進行をお願いいたします。
4. 収録発表の演題は質疑応答を行いませんのでよろしくお願いいたします。

指定演題、一般演題（口演発表）の演者の方へ

第 43 回日本顔面神経学会では例年通りの会場でのご発表に加え、会場にお越しになれない先生方を対象とした収録発表も併せて行います。

これまでの学会の形式と異なる点がありますので、下記のご案内のご確認をお願い申し上げます。

1. セッション開始の 10 分前までに会場左手前方の「次演者席」にご着席ください。

2. 講演時間

一般演題（口演）：発表 7 分、質疑応答 3 分
発表時間内に終了するようにご配慮ください。

3. 発表方法

PC プレゼンテーションのみとなります。
プロジェクターは一面投影です。

4. 講演データ受付（PC 受付）

9 月 29 日（火） 11:00 ～ 17:30
9 月 30 日（水） 8:00 ～ 18:00
10 月 1 日（木） 8:00 ～ 11:10

5. 発表データ形式

■個人情報に関する注意事項

本学会の発表は録画し後日 Web 開催されますので、発表データに個人情報の記載などのないよう下記の点にご注意ください。

- 1) 患者氏名、イニシャルなどはお控えください。
- 2) 受診日等の日付記載に関しては 20XX 年などと限定できないようお願い致します。
- 3) 検査データ（CT や MRI など）に患者氏名、カルテ番号が表示されないようお願い致します。
- 4) 音声や発表原稿に個人情報を入れないうご配慮ください。
- 5) 薬品名は一般名をお願い致します。

注）現地開催では患者さんの顔の写真・VTR は修正することなくご発表いただけますが、Web 開催の際は事務局にて全てのお顔の写真・VTR は個人を同定できないように修正させていただきます。

■スライド作成形式

Web 開催も行いますので下記の様にご発表のスライドを作成ください。

- アプリケーションは Microsoft PowerPoint で作成してください。
- スライドの画面サイズは 16：9 で作成してください。
- Windows 標準フォントを使用してください。
- ファイルのお名前は「演題番号+お名前」とし保存してください。

例) 0-01 顔面太郎 .ppt

スライド 1 枚目には 演題番号、お名前、ご所属、発表者のお写真を
2 枚目以降に発表スライドをお作りください。

※ HP (<http://www.fnr.umin.jp/43rd/>) に 1 枚目から 3 枚目までのスライドひながたをご用意いたしましたので、ダウンロードしご利用ください。

■収録発表について

COVID-19 の感染対策の関係上、当日会場で発表できない方に限り、事前に音声入りのスライドをご提出いただければ、収録発表での講演も可能です。

当日会場にて収録発表させていただいた後、Web 開催でも掲載させていただきます。

収録発表をご希望の方は大会事務局までお申し出ください。

音声入りスライドの作製方法と送付方法は HP (<http://www.fnr.umin.jp/43rd/up/>) をご覧ください。

なお、収録発表用のスライドの提出期限は 9 月 15 日 (火) までとさせていただきます。

■データをメディアにて持ち込まれる方へ

- 1) 当日は発表予定時間の 30 分前までに、PC 受付にて試写用 PC を使用し発表データの確認を行ってください。
- 2) お持ち頂けるメディアは USB フラッシュメモリのみです。
※メディアがウイルスに感染していないことをご確認のうえお持ち込みください。
- 3) データの容量は最大で 1GB 程度にしてください。
- 4) OS とアプリケーションは以下のものをご用意いたします。

OS：Windows10

アプリケーション：Windows 版 Powerpoint2013

Macintosh で作成された方は Mac 本体をお持ち込みください。

なお、Windows 上でデータを開くことも可能ですが、Macintosh 上での表示と異なる場合がございます。

- 5) フォントは OS (Windows10) 標準のもののみをご用意いたします。
- 6) 発表に使用する PC の画面サイズはワイド (16：9) です。
- 7) 動画をご使用になる場合は、受付の際に必ずお知らせください。音声は使用できません。
- 8) 動画などの参照ファイルがある場合は、すべてのデータを同じフォルダに入れてください。
なお、Powerpoint2010 以降は動画ファイルをスライドデータに埋め込む機能がありますが、下位バージョンで編集されますと、その機能が失われることがあります。

※動画ファイルの注意点

Windows の場合 Windows10 (OS) 及び Windows Media Player11 の初期状態に含まれるコー

デスクで再生できる動画ファイルをお持ちください。

- 9) 発表データ作成後、作成した PC 以外の PC で正常に動作することをご確認ください。
- 10) 発表時には、演題上のマウスとキーボードで操作をお願いします。
- 11) 発表データは、「PC 受付」のサーバーと会場の PC に一時保存いたしますが、それらのデータは本学会終了後、責任をもって廃棄します。

■ご自身の PC をご使用になる方へ

- 1) 発表予定時間の 30 分前までに PC 受付へお越しください。
- 2) PC 受付の試写用モニターに正しく映像が出力されることをご確認ください。
- 3) 使用することのできる映像出力端子は D-sub15 ピン (VGA) のみです。
D-sub15 ピンへの変換コネクタが必要な方は必ずご持参ください。
D-sub15 ピン以外への接続はできませんのでご了承ください。
- 4) 発表データのショートカット (エイリアス) を「セッション番号_演者名」(例: セッション 1_発表太郎) として作成し、デスクトップ上のわかりやすい場所に保存してください。
- 5) 画面サイズはワイド (16:9) です。
- 6) 音声は使用できません。
- 7) 予めスクリーンセイバーや省電力設定を (Macintosh の場合はホットコーナーも) 解除してください。
- 8) 起動時にパスワード等を設定している場合は、予め解除してください。
- 9) AC アダプタは必ずお持ちください。
- 10) PC は次演者席に着席されるときに会場内のオペレーターにお預けください。
- 11) 発表時には演台にセットされているモニター、キーボード、マウスをご使用ください。
ご自身の PC は演台上にはあげられません。
※発表者ツールは使用できません。
- 12) 講演終了後、会場内のオペレーター席へお越しいただき、PC の引き取りをお願いいたします。

6. Facial Nerve Research Japan への投稿について

特別な事情が無い限り、ご発表いただきました全ての演題の要旨を「Facial N Res Jpn Vol. 40」へご投稿ください。今回は学会開催の延期により、投稿依頼を学会会期前の 9 月初旬にメールでお送り致します。投稿申込締切は学会終了直後の 10 月 2 日、投稿締切は 10 月 30 日を予定しています。

原稿は日本顔面神経学会の WEB サイトの「投稿要領」をご覧ください、雑誌の投稿規定に沿って作成をお願い致します。

また会則により、著者は原則として日本顔面神経学会の正会員に限ります。共著者は日本顔面神経学会の正会員または発表会員に限ります。

正会員でない場合には下記日本顔面神経学会 WEB サイトの「入会案内」をご覧くださいの上、入会手続きをお願い致します (入会金 1,000 円 + 年会費 8,000 円)。発表会員を希望される場合には、事務局より発表料 (2,000 円) の支払いに関する案内を致します。

(日本顔面神経学会 URL : <http://www.fnr.umin.jp/member/app.html>)

Web 開催

参加者・演者の方へ

Web 開催にあたって

現地開催で発表された演題は Web 開催時にも視聴できるよう努力しておりますが、共催セミナーの一部は現地開催のみとなりますこと、あらかじめご了承ください。

また、第 11 回顔面神経麻痺リハビリテーション技術講習会は現地開催時のみの講習となり、Web 開催はいたしません。

1. 会期

Web 学会開催期間：2020 年 10 月 15 日（木）～ 10 月 21 日（水）

2. 参加登録期間

Web 学会参加登録期間：2020 年 8 月 29 日（土）～ 10 月 21 日（水）

3. Web 開催参加方法

Web 開催参加費：

医 師 15,000 円

医師以外 10,000 円

医学部学生、初期臨床研修医：無料※

※ Web 開催の学会参加登録を希望される医学部学生、初期臨床研修医の方は、HP の「医学部学生、初期臨床研修医の方へ」をご確認いただき、9 月 22 日までにご申請ください。

参加登録：

学会 HP (<http://www.fnr.umin.jp/43rd/>) の「Web 学会参加登録」のボタンよりお進みいただき必要事項の入力と、参加費の支払いをカード決済でお済ませください。

参加登録が確定するとメールにて閲覧用のログイン ID とパスワードを発行致します。

この ID とパスワードを使い、Web 学会開催期間中に Web サイトからログインしてください。

なお、今回の Web 学会の参加申込はオンラインによる受付のみとし、決済方法はクレジットカードのみとさせていただきます。

ご利用いただけるカードは VISA、MasterCard、JCB、AMEX、Diners カードです。ご理解いただけますようお願いいたします。

(登録後 6 時間以上たっても ID とパスワードがメールで送られてこない場合は、お手数ですがサポートデスクまでメールでご連絡ください。)

取消について：

お申し込み後の取り消しについてはいかなる理由であってもお受けいたしかねますので予めご了承ください。

参加証明書と領収書について：

Web 学会のサイトに入りますと、参加証明書と領収書が記載されたネームカードを PDF 形式でダウンロードできるようにしてございます。

ネームカードには登録時にご記入いただいたご所属と名前が印字されるようにしてございます。

Web 学会終了後にはダウンロードできなくなりますので、サイトアクセス時に必ずダウンロードしご保管ください。

Web 学会終了後のネームカードの再発行等はいたしませんのでご注意ください。

4. 「単位付与される講習」についてのご案内

本学会は、日本専門医機構の領域専門医更新における、日本耳鼻咽喉科学会に関連する学会、日本形成外科学会に関連する学会としての Web 開催にのみ参加の方も出席単位が認められています。また、日本ペインクリニック学会の認めた専門医資格更新のための Web 開催にのみ参加の方も生涯教育基準点数（3 点）を有します。

日本言語聴覚士協会の参加単位及び発表単位は Web 参加のみの方、収録発表の方にも付与されます。日本理学療法士協会、日本作業療法士協会の参加・受講ポイントは Web 開催のみ参加の方には付与されません。

末項に各学会の単位付与に関して表を記載しております。また Web 参加に関しては各学会の HP もご参照ください。

（Web 開催に参加登録された方も、現地開催に参加可能ですが、学会の視聴は可能ですが、参加単位、領域講習等の専門医単位は Web 講習参加時にご取得いただくものだけとなり、現地開催での取得はできませんのでご注意ください。参加単位、領域講習等の専門医単位は Web 開催参加時にご取得ください。）

登録システム

参加登録される際に、お名前、フリガナ、ご所属、日本耳鼻咽喉科学会または日本形成外科学会の会員番号の記入をしていただきます。

単位付与の判定に必須な項目ですので間違いのないようご記入ください。

入力ミスにより単位付与されなかった場合の保証はいたしませんのでご注意ください。

学会参加登録

Web 学会参加登録を済ませた方に発行される個別の ID とパスワードで Web 学会にログインいただきご視聴ください。

ログインの履歴をもって参加登録の単位付与といたします。

なお、Web 学会サイト内のメニュー上に「参加証明書控え」が表示されますので、各自ダウンロード、控えとしてお持ちください。

日本耳鼻咽喉科学会／日本形成外科学会 専門医領域講習

Web 学会サイト内の領域講習をクリックしご視聴ください。

視聴前に ID とパスワードを確認させていただき、ログインした時間を記録させていただきます。

講習動画は、早送り、巻き戻し等が出来ないように制御してございます。講習を最後まで見られ

るお時間のある時にご視聴ください。

講習動画が終わると、「受講終了ボタン」が現れますので、これをクリックし、「受講証明書控え」を必ずダウンロードしてください。

受講証明書控えをダウンロードした時間をもって動画を全て視聴したログアウトの時間として記録させていただきます。

ログインの時間からログアウトまでの時間が動画再生時間以上であることの確認をもって単位付与となります。

ログインだけでは単位付与になりませんのでご注意ください。

日本専門医機構耳鼻咽喉科領域講習単位は以下のセッションで取得できます。

【対象プログラム】

シンポジウム 2 「Hunt 症候群治癒率向上への挑戦」

特別講演 2 (スポンサーセミナー) 「顔面神経麻痺—過去・現在・未来—」

注) パネルディスカッション 2 (耳鼻咽喉科領域講習) の Web 講演はございませんのでご注意ください。

日本専門医機構形成外科領域講習単位は以下のセッションで取得できます。

【対象プログラム】

パネルディスカッション 1 「Bell 麻痺・Hunt 症候群に対する形成外科的アプローチ —治療指針作成に向けて—」

手術 VTR セッション「顔面神経の扱い方」

注) 特別講演 1 (ランチョンセミナー) (形成外科領域講習) の Web 講演はございませんのでご注意ください。

5. 第 11 回顔面神経麻痺リハビリテーション技術講習会

第 11 回顔面神経麻痺リハビリテーション技術講習会は現地開催時のみの講習となり、Web 開催はいたしません。

6. 演者の方へ

今回の学会は現地開催と WEB 開催 (オンデマンド) とのハイブリッド開催になります。

現地開催当日発表するスライドと音声を録画・録音させていただき後日オンデマンドで配信いたしますので、改めて Web 開催用にデータをお作りいただく必要はございません。

7. Facial Nerve Research Japan への投稿について

特別な事情が無い限り、ご発表いただきました全ての演題の要旨を「Facial N Res Jpn Vol. 40」へご投稿ください。今回は学会開催の延期により、投稿依頼を学会会期前の 9 月初旬にメールでお送り致します。投稿申込締切は学会終了直後の 10 月 2 日、投稿締切は 10 月 30 日を予定しています。

原稿は日本顔面神経学会の WEB サイトの「投稿要領」をご覧ください、雑誌の投稿規定に沿って作成をお願い致します。

また会則により、著者は原則として日本顔面神経学会の正会員に限ります。共著者は日本顔面神経学会の正会員または発表会員に限ります。

正会員でない場合には下記日本顔面神経学会 WEB サイトの「入会案内」をご覧の上、入会手続きをお願い致します（入会金 1,000 円 + 年会費 8,000 円）。発表会員を希望される場合には、事務局より発表料（2,000 円）の支払いに関する案内を致します。

（日本顔面神経学会 URL：<http://www.fnr.umin.jp/member/app.html>）

8. その他

1) 録音・録画

講演動画のダウンロード・スクリーンショット・撮影・録音は禁止します。

2) 質疑応答

Web 開催において質疑応答はございません。

9. 個人情報の取扱いについて

登録時にお預かりする個人情報は第 43 回日本顔面神経学会の運営（講習会単位認定に係る手続き、参加登録など）に関連する業務遂行の目的にのみ利用いたします。

10. 推奨ブラウザ

[Windows]

- ・ Google Chrome（最新版）
- ・ Mozilla Firefox（最新版）
- ・ Microsoft Edge（最新版）

※ Internet Explorer では視聴できません。Microsoft Edge をご使用ください。

[Macintosh]

- ・ Safari（最新版）
- ・ Google Chrome for mac（最新版）

11. Web 開催サポートデスク

システムサポート

ジャックビーンズ 担当：横山達也

TEL：055-233-4580

E-mail：fnr43web@amsys.jp

※ 開催方式について

	開催日	参加受付	参加単位	領域講習
現地開催 (Web 開催も 視聴可)	9 月 29 日～ 10 月 1 日	現地のみ	現地でのみ取得 (Web 開催では取得不可)	現地で単位取得可 (Web 開催で領域講習の視聴可、 単位取得不可)
Web 開催	10 月 15 日～ 10 月 21 日	学会 HP 10/21 まで	一部の学会を除き取得可 (下表参照)	講習内容が現地開催と一部異なります (現地で単位取得不可)

医学生・初期臨床研修医の参加費は無料、ただし Web 開催は、9 月 22 日までにご申請ください。詳細はホームページの「医学部学生、初期臨床研修医の方へ」をご確認ください。

※ 発表形式

	発表方法	スライドチェックイン	質疑応答	動画の使用
現地発表	会場で発表	現地 PC 受付	あり	可能
収録発表	音声付きスライドを 会場にて映写	学会 HP から 9/15 までに提出	なし	可能

※参加単位について

	現地開催	Web 開催	領域講習
日本耳鼻咽喉科学会	○	○	○
日本形成外科学会	○	○	○
日本ペインクリニック学会	○	○	
日本言語聴覚士協会	○	○	
日本理学療法士協会	○	×	
日本作業療法士協会	○	×	

※発表単位について

	現地発表	収録発表
日本言語聴覚士協会	○	○
日本理学療法士協会	○	×
日本作業療法士協会	○	×

プログラム

2020 年 9 月 29 日 (火) 第 1 会場 [2 階 大和の間 (北)]

11:55~12:00

開会式

会長：羽藤 直人 (愛媛大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

12:00~13:00

特別講演 1 (ランチョンセミナー)

[領域講習(形)]

共催：ニプロ株式会社

司会：垣淵 正男 (兵庫医科大学形成外科)

SL1

末梢神経外科の歴史、現状、展望

平田 仁 (名古屋大学医学部手外科学講座)

13:10~14:40

パネルディスカッション 1

[領域講習(形)]

Bell 麻痺・Hunt 症候群に対する形成外科的アプローチ
—治療指針作成に向けて—

司会：多久嶋 亮彦 (杏林大学形成外科)

濱田 昌史 (東海大学耳鼻咽喉科)

PD1-1

Bell 麻痺・Hunt 症候群の陳旧期眼瞼症状に対する治療

橋川 和信 (神戸大学医学部形成外科)

PD1-2

Bell 麻痺・Hunt 症候群後の病的共同運動・拘縮に対する形成外科的アプローチ

松田 健 (新潟大学医学部形成外科)

PD1-3

Bell 麻痺・Hunt 症候群の後遺症 (病的共同運動・顔面拘縮) に対する手術治療の検討

田中 一郎 (東京歯科大学市川総合病院形成外科)

PD1-4

アルゴリズムに基づく Bell 麻痺・Hunt 症候群に対する形成外科的アプローチ

清水 史明 (大分大学医学部附属病院形成外科)

PD1-5

Bell 麻痺・Hunt 症候群の後遺症に対する形成外科手術

成田 圭吾 (杏林大学形成外科)

15:00~16:20

パネルディスカッション 2

[領域講習(耳)]

新しい顔面神経麻痺評価法と柳原法の融合

司会：欠畑 誠治 (山形大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

コメンテーター：柳原 尚明 (愛媛大学 名誉教授)

PD2-1

iPhone を用いたリアルタイム顔面神経麻痺評価アプリ

堀 龍介 (天理よろづ相談所病院耳鼻咽喉科)

PD2-2

人工知能 (AI) による機械学習を用いた柳原法標準化への試み

和佐野 浩一郎 (国立病院機構東京医療センター臨床研究センター聴覚・平衡覚研究部)

16:30~17:30 一般演題 第1群 要望演題

座長：暁 清文（鷹の子病院耳鼻咽喉科 / 愛媛大学名誉教授）

脇坂 浩之（愛媛県立医療技術大学保健科学部）

- O-01** 顔面神経再生医療とヒト嗅上皮由来構築細胞からの成長因子産生
山田 武千代（秋田大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科）
- O-02** HSV-1 再活性化顔面神経麻痺モデルおよび Bell 麻痺臨床検体におけるウイルス検出部位の検討
松本 宗一（高知大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科）
- O-03** 血清单純ヘルペスウイルス抗体陰性例の顔面神経麻痺症例の検討（第2報）
岸 博行（日本大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科学分科）
- O-04** 異なるプログラムによる末梢性顔面神経麻痺に対するリハビリテーションの効果とその後の検討
森嶋 直人（豊橋市民病院リハビリテーションセンター）
- O-05** 両側性顔面神経麻痺の ENoG 基準値評価—従来法と正中法による再検討—
大田 重人（兵庫医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科）
- O-06** 圧迫障害モデルにおける病的共同運動と神経過誤支配の検討
山田 啓之（愛媛大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科）

2020 年 9 月 29 日 (火) 第 2 会場 [2 階 大和の間 (南)]

12:00~13:00 特別講演 1 (ランチョンセミナー) [領域講習(形)] : サテライト講演
共催 : ニプロ株式会社
司会 : 垣淵 正男 (兵庫医科大学形成外科)

SL1 末梢神経外科の歴史、現状、展望
平田 仁 (名古屋大学医学部手外科学講座)

13:10~14:00 一般演題 第 2 群 基礎・教育
座長 : 北原 紘 (奈良県立医科大学耳鼻咽喉・頭頸部外科)
小森 正博 (高知大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

- O-07 IGF-1 による顔面神経麻痺回復効果の検討・第二報
杉山 元康 (山形大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科)
- O-08 冷却顔面神経麻痺モデルにおける IGF-1 の鼓室内投与の検討
木村 拓也 (愛媛大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科)
- O-09 マウス顔面神経切断モデルによる顔面神経核におけるグリア細胞の変化と末梢神経変性に与える影響の検討
高相 裕司 (金沢大学耳鼻咽喉科頭頸部外科)
- O-10 CDK9 選択阻害薬の単純ヘルペスウイルス臨床分離株への抗ウイルス効果
江崎 伸一 (名古屋市立大学耳鼻咽喉・頭頸部外科)
- O-11 【演題取り下げ】
- O-12 当科における顔面神経損傷予防のための Thiel 法固定を用いた cadaver 実習
阿部 靖弘 (山形大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科)

14:10~14:40 一般演題 第 3 群 薬物治療
座長 : 信太 賢治 (昭和大学横浜市北部病院麻酔科)
稲垣 彰 (名古屋市立大学医学研究科耳鼻咽喉・頭頸部外科)

- O-13 当科における A 型ボツリヌス毒素治療の検討
神戸 史乃 (日本海総合病院耳鼻咽喉・頭頸部外科)
- O-14 顔面痙攣への A 型ボツリヌス毒素 (BTX) 治療の満足度調査
天野 真太郎 (山形大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座)
- O-15 当科における Bell 麻痺症例の治療成績
後藤 崇成 (日本海総合病院耳鼻咽喉頭頸部外科)
- O-16 【演題取り下げ】

14:50~16:00 一般演題 第 4 群 形成外科手術

座長：朝戸 裕貴（獨協医科大学形成外科）

松田 健（新潟大学形成・再建外科）

- O-17** 鳥状側頭筋移行術の皮膚切開の違いによる比較検討 —conventional と modified LTM—
林 明照（東邦大学医療センター佐倉病院形成外科）
- O-18** 完全麻痺後 2 年以上経過して咬筋神経移行と一期的遊離広背筋移植を同時に施行した 2 例
成田 圭吾（杏林大学医学部形成外科）
- O-19** 【演題取り下げ】
- O-20** 遊離筋肉移植による笑いの再建における脳活動部位の推移：fMRI による経時的検討
木村 武一郎（杏林大学形成外科）
- O-21** 顔面神経麻痺後の眼瞼拘縮および病的共同運動に対する手術治療
藤原 敏宏（兵庫医科大学形成外科）
- O-22** 前頭骨骨膜弁を用いた眉毛挙上法
河合 建一郎（兵庫医科大学形成外科）
- O-23** 耳下腺癌切除、顔面神経再建後の形態と神経回復の関連
兒玉 浩希（東京慈恵会医科大学形成外科）
- O-24** 80 代男性に行った患側咬筋神経を動力源とした遊離薄筋弁移植について
上原 幸（大分大学医学部附属病院形成外科）

16:30~17:30 一般演題 第 5 群 評価 1

座長：國弘 幸伸（慶應義塾大学医学部耳鼻咽喉科）

本多 伸光（愛媛県立中央病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科）

- O-25** 鍼通電刺激と柳原法を併用した末梢性顔面神経麻痺患者の予後予測 —Twitch 陽性例での検討—
堀部 豪（埼玉医科大学東洋医学科）
- O-26** 40 点法（柳原法）の合計点と各項目の特徴についての検討
平賀 良彦（静岡赤十字病院耳鼻咽喉科）
- O-27** Saito-Box を用いた顔面神経麻痺評価
近藤 俊輔（琉球大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科）
- O-28** 顔面神経麻痺シミュレーション動画麻痺モデル作製；第 3 報
細見 慶和（神戸労災病院耳鼻咽喉科）
- O-29** 顔面神経麻痺非治癒例の不安・うつ状態の評価
藤原 圭志（北海道大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科）
- O-30** アプミ骨手術における顔面神経下垂の術前評価についての検討
中島 崇博（宮崎大学医学部耳鼻咽喉科）

2020 年 9 月 30 日 (水) 第 1 会場 [2 階 大和の間 (北)]

9:00~10:30 シンポジウム 1 フィジカルセラピーの新展開

司会：森嶋 直人 (豊橋市民病院リハビリテーションセンター)
田邊 牧人 (老木医院山本中耳サージセンター)

- S1-1** 顔面神経麻痺に対するフィジカルセラピーの現状 —ミニマムスタンダードは何か—
森嶋 直人 (豊橋市民病院リハビリテーションセンター)
- S1-2** 顔面神経フィジカルセラピーのエビデンス
東 貴弘 (徳島大学医学部耳鼻咽喉科)
- S1-3** 顔面神経麻痺フィジカルセラピーの評価～超音波検査装置を用いた顔面拘縮の客観的評価法の検討～
飴矢 美里 (愛媛大学医学部耳鼻咽喉科)
- S1-4** 運動障害に対する新しいリハビリテーション治療
藤原 俊之 (順天堂大学医学部リハビリテーション科)

10:40~12:10 特別企画 日韓合同セミナー 〈2021 IFNS Kick off Seminar〉

司会：中川 尚志 (九州大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

- JKS-1** Recurrent Bell's palsy
Seung Geun Yeo (Department of Otolaryngology - Head & Neck Surgery, School of Medicine, Kyung Hee University, Seoul, Republic of Korea)
- JKS-2** INDIVIDUALIZED MANAGEMENT FOR FACIAL COMPLICATION AFTER SEVERE FACIAL PALSY
Jim Kim (Associate Professor, Dept. of Otorhinolaryngology, Head and Neck Surgery, Inje University Ilsan Paik Hospital)
- JKS-3** Image-guidance to preserve facial nerves
Nozomu Matsumoto (Department of Otorhinolaryngology, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University, Fukuoka, Japan)
- JKS-4** FACIAL REANIMATION using PARTIAL LATISSIMUS DORSI MUSCLE FLAP with INTERFASCICULAR NERVE SPLITTING
Hak Chang (Department of Plastic and Reconstructive Surgery, Research Institute of Plastic and Reconstructive Surgery (RIPRS), Seoul National University College of Medicine)
- JKS-5** Intraoral Lengthening Temporalis Myoplasty for complete and incomplete facial paralysis
Ayato Hayashi (Department of Plastic and Reconstructive Surgery, Juntendo University Urayasu Hospital)
- JKS-6** 2021 IFNS
Yang-Sun Cho (Department of Otorhinolaryngology-Head and Neck Surgery, Sungkyunkwan University School of Medicine, Samsung Medical Center)

12:20～13:20 ランチョンセミナー 抗ウイルス薬の展望
 共催：マルホ株式会社
 司会：青柳 優（大町病院耳鼻咽喉科／山形大学名誉教授）

- LS-1** 帯状疱疹温故知新
 渡辺 大輔（愛知医科大学皮膚科）
- LS-2** 顔面神経麻痺の治療～アメンアリーフなどの抗ヘルペス・ウイルス剤の効果的な使用～
 松代 直樹（大阪警察病院耳鼻咽喉科顔面神経・難聴センター）

13:30～14:00 総会

14:10～15:40 シンポジウム 2 Hunt 症候群治癒率向上への挑戦 [領域講習^①]
 司会：古田 康（手稲溪仁会病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科）
 渡辺 大輔（愛知医科大学皮膚科）

- S2-1** Hunt 症候群の発症動向
 古田 康（手稲溪仁会病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科）
- S2-2** Hunt 症候群に対するアメンメビルの上乗せ効果に関する検討
 寺岡 正人（愛媛大学医学部耳鼻咽喉科）
- S2-3** Hunt 症候群治癒率向上を目指した薬物療法とその限界
 濱田 昌史（東海大学医学部耳鼻咽喉科）
- S2-4** Hunt 症候群への減荷術
 内田 真哉（京都第二赤十字病院耳鼻咽喉科・気管食道外科）
- S2-5** Hunt 症候群のワクチン予防
 江崎 伸一（名古屋市立大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科）
- S2-6** 帯状疱疹診療のアンメットニーズ
 渡辺 大輔（愛知医科大学皮膚科）

15:50～16:50 特別講演 2（スポンサーセミナー） [領域講習^①]
 共催：株式会社モリタ製作所
 司会：柳原 尚明（鷹の子病院耳鼻咽喉科 / 愛媛大学名誉教授）

- SL2** 顔面神経麻痺 —過去・現在・未来—
 村上 信五（名古屋市立東部医療センター耳鼻咽喉科）

17:00~18:30 シンポジウム 3 鼓索神経の謎に迫る

司会：阪上 雅史（兵庫医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科）

萩森 伸一（大阪医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科）

S3-1 鼓索神経の謎

萩森 伸一（大阪医科大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科）

S3-2 【演題取り下げ】**S3-3** 胎児、小児期の鼓索神経～コーンビーム CT（CBCT）画像からわかること～

小森 正博（高知大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科）

S3-4 先天性小耳症からみた鼓索神経の謎

高野 賢一（札幌医科大学耳鼻咽喉科）

S3-5 鼓索神経の分類と CT 所見と骨鋭匙ハンドル

松本 有（東京大学医学部耳鼻咽喉科）

S3-6 鼓索神経の謎に迫る「鼓索神経の術中所見」

古川 孝俊（山形大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科）

2020 年 9 月 30 日 (水) 第 2 会場 [2 階 大和の間 (南)]

9:00~10:10 一般演題 第 6 群 顔面神経減荷術

座長：東野 哲也 (宮崎大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科)

山田 武千代 (秋田大学大学院医学系研究科・医学部耳鼻咽喉科)

- O-31** 内視鏡下顔面神経部分減荷術が有効であった側頭骨骨折の 1 例
村井 尚子 (京都第二赤十字病院耳鼻咽喉科・気管食道外科)
- O-32** 当科における重症顔面神経麻痺の治療成績の検討
西村 理宇 (兵庫医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科)
- O-33** 当科にて施行した顔面神経減荷術症例の検討
佐藤 崇 (大阪大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学)
- O-34** 当科における顔面神経減荷術について：手術手技について
角田 篤信 (順天堂大学医学部附属練馬病院耳鼻咽喉・頭頸科)
- O-35** 顔面神経減荷術における NIM レスpons 3.0[®] を用いた術後予後判定
山岸 達矢 (新潟大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科)
- O-36** 顔面神経減荷術症例における予後因子の検討
小田桐 恭子 (東海大学医学部耳鼻咽喉科)
- O-37** 顔面神経減荷術：減荷時期と術後成績の相関
稲垣 彰 (名古屋市立大学大学院医学研究科耳鼻咽喉・頭頸部外科)

10:10~11:00 一般演題 第 7 群 ウイルス性顔面神経麻痺

座長：猪原 秀典 (大阪大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

中田 誠一 (藤田保健衛生医科大学第二教育病院耳鼻咽喉科)

- O-38** 抹消性顔面神経麻痺と HSV 抗体価について
畑 裕子 (三井記念病院耳鼻咽喉科)
- O-39** VZV 再活性化例における好中球・リンパ球比の意義
古田 康 (手稲溪仁会病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科)
- O-40** 当院における Hunt 症候群の治療成績
吉田 崇正 (佐世保共済病院耳鼻咽喉科)
- O-41** 顔面神経麻痺を欠いた不全型 Hunt 症候群 (Haymann IV 型) に対してアメナメビルが
著効した 1 例
安齋 崇 (順天堂大学耳鼻咽喉科)
- O-42** 初発症状が咽頭痛で後に多発脳神経症状を呈した Ramsay Hunt 症候群の一例
赤澤 幸則 (琉球大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科)

11:00~12:20 一般演題 第 8 群 症例

座長：土井 勝美（近畿大学医学部耳鼻咽喉科）

香取 幸夫（東北大学耳鼻咽喉・頭頸部外科）

- O-43** 末梢性顔面神経麻痺を契機に発見された鼓索神経鞘腫の一例
青木 由宇（金沢大学耳鼻咽喉科頭頸部外科）
- O-44** 難聴が発見の契機となった顔面神経鞘腫例
田邊 牧人（老木医院山本中耳サージセンター）
- O-45** 顔面神経鞘腫との鑑別を要した顔面神経麻痺症例の検討
岡本 昌之（福井大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科）
- O-46** 人工内耳挿入後に顔面けいれんを起こした 1 例
東野 好恵（九州大学病院医療技術部リハビリテーション部門）
- O-47** 手術体位の圧迫を契機に発症した顔面神経麻痺の 2 例
須藤 貴人（大阪労災病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科）
- O-48** 一過性の顔面神経麻痺を伴った脳幹梗塞の一例
田島 勝利（順天堂大学耳鼻咽喉科）
- O-49** ウイルス性顔面神経麻痺として経過観察されていた耳下腺腫脹のない耳下腺癌 2 例
南方 寿哉（名古屋市立大学大学院医学研究科耳鼻咽喉・頭頸部外科）
- O-73** 顔面神経麻痺を契機に発見された両側基底細胞腺腫の一例
中西 弘紀（名古屋市立東部医療センター耳鼻咽喉科）

12:20~13:20 ランチョンセミナー 抗ウイルス薬の展望

サテライト講演

共催：マルホ株式会社

司会：青柳 優（大町病院耳鼻咽喉科／山形大学名誉教授）

- LS-1** 帯状疱疹温故知新
渡辺 大輔（愛知医科大学皮膚科）
- LS-2** 顔面神経麻痺の治療～アメンアリーフなどの抗ヘルペス・ウイルス剤の効果的な使用～
松代 直樹（大阪警察病院耳鼻咽喉科顔面神経・難聴センター）

14:10~15:00 一般演題 第 9 群 リハビリテーション

座長：中村 克彦（中村耳鼻咽喉科クリニック）

立花 慶太（大阪労災病院リハビリテーション科）

- O-50** 医師に対する顔面神経麻痺リハビリテーション意識調査
久保 和彦（千鳥橋病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科）
- O-51** 低年齢発症の小児顔面神経麻痺の診察と病的共同運動に対するリハビリテーション指導について
高橋 美香（徳島大学耳鼻咽喉科）
- O-52** 低周波通電刺激時の表面筋電図を用いた表情筋の筋活動について
粕谷 大智（東京大学医学部附属病院リハビリテーション部鍼灸部門）

- O-53** 【演題取り下げ】
- O-54** 「口から目」の病的共同運動に対する食事中テープフィードバック法の効果検討
池田 早織（東海大学医学部附属大磯病院リハビリテーションセンター）
- O-55** 顔面神経再建術後のボツリヌストキシン併用理学療法の実績
高倉 真由佳（東京慈恵会医科大学形成外科）

15:50～16:50 特別講演 2（スポンサードセミナー） [領域講習^⑧]：サテライト講演
共催：株式会社モリタ製作所
司会：柳原 尚明（鷹の子病院耳鼻咽喉科 / 愛媛大学名誉教授）

- SL2** 顔面神経麻痺 —過去・現在・未来—
村上 信五（名古屋市立東部医療センター耳鼻咽喉科）

17:00～17:50 一般演題 第 10 群 評価 2
座長：兵頭 政光（高知大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科）
鈴木 幹男（琉球大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科）

- O-56** 治癒期間からみた正中法と各表情筋 ENoG の関係
和田 晋一（天理医療大学医療学部）
- O-57** 末梢性顔面神経麻痺治療前後の ENoG 値の変化
綾仁 悠介（大阪医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科）
- O-58** 健常者における一側閉眼動作の左右差に対して表面筋電図を用いた検討
黒田 早織（東海大学医学部附属病院リハビリテーション技術科）
- O-59** AI を用いた Facial Keypoint Detection による顔面神経麻痺の評価
木村 武一郎（杏林大学形成外科）
- O-60** 顔面神経麻痺程度の客観的評価—ハイスピードカメラを用いた自発性瞬目の計測— 第 2 報
渕上 輝彦（徳島大学医学部耳鼻咽喉科）

2020 年 10 月 1 日 (木) 第 1 会場 [2 階 大和の間 (北)]

9:00~10:10 一般演題 第 11 群 統計・解析

座長：阿部 靖弘 (山形大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

- O-61** 当科における外傷性顔面神経麻痺症例の検討
木村 幸弘 (福井大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科)
- O-62** 末梢性顔面神経麻痺 112 症例の検討
伏見 勝哉 (宝塚市立病院耳鼻咽喉科)
- O-63** 当科における再発性顔面神経麻痺の検討
菊岡 祐介 (大阪医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科)
- O-64** 小児の後天性顔面神経麻痺非治癒症例についての検討
馬場 信太郎 (東京都立小児総合医療センター耳鼻咽喉科)
- O-65** 当科における顔面神経鞘腫 21 例の検討
下田 光 (神戸大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科)
- O-66** 当科における側頭骨内顔面神経鞘腫例の検討
神人 彪 (大阪医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科)
- O-67** 完全脱神経型顔面神経麻痺に対する鍼灸治療の効果—初診時発症 1 年以内 14 名の検討—
中村 真理 (まり鍼灸院鍼灸)

10:10~11:00 一般演題 第 12 群 頭蓋底手術

座長：橋本省 (東北大学大学院医科学系研究科)

- O-68** 対側顔面麻痺で発症した硬膜内嚢胞を伴う中頭蓋窩巨大顔面神経鞘腫の 1 手術例
松田 真秀 (筑波大学医学医療系脳神経外科)
- O-69** 顔面神経麻痺を起こさない小脳橋角部腫瘍の手術戦略
久須美 真理 (北里大学メディカルセンター脳神経外科)
- O-70** 顔面神経鞘腫が疑われ外科的切除を行ったところ転移性顔面神経腺癌の診断に至った 1 例
椎名 和弘 (秋田大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科)
- O-71** 頸静脈孔部腫瘍摘出術における顔面神経の処置と機能予後
菅原 貴志 (東京医科歯科大学脳神経外科)
- O-72** 繰り返す顔面神経麻痺で発覚した頸静脈球形傍神経節腫の一例
有賀 健治 (大阪警察病院耳鼻咽喉科)

11:10～12:20 手術 VTR セッション 顔面神経の扱い方 [領域講習(形)]

司会：朝戸裕貴（獨協医科大学形成外科）河野道宏（東京医科大学脳神経外科）

- VTR-1** 聴神経腫瘍・小脳橋角部腫瘍手術における顔面神経の扱い方
河野 道宏（東京医科大学脳神経外科）
- VTR-2** 中耳手術時の顔面神経の扱い方
大石 直樹（慶應義塾大学医学部耳鼻咽喉科）
- VTR-3** 減荷術時の顔面神経の扱い方
美内 慎也（兵庫医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科）
- VTR-4** 耳下腺腫瘍手術における顔面神経の取り扱い
向川 卓志（静岡県立静岡がんセンター頭頸部外科）
- VTR-5** 顔面神経麻痺再建時における顔面神経の扱い方
林 明照（東邦大学医療センター佐倉病院形成外科）

2020 年 10 月 1 日 (木) 第 2 会場 [2 階 大和の間 (南)]

9:00~12:30 第 11 回顔面神経麻痺リハビリテーション講習会

司会：森嶋 直人 (豊橋市民病院リハビリテーションセンター)

立花 慶太 (大阪労災病院中央リハビリテーション部)

- 1) 顔面神経麻痺の原因と病態
藤原 圭志 (北海道大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科)
- 2) 顔面神経麻痺の評価とは
松代 直樹 (大阪警察病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科)
- 3) FaCE Scale (Facial Clinimetric Evaluation Scale) について
飴矢 美里 (愛媛大学耳鼻咽喉科)
- 4) 顔面神経麻痺リハビリテーションの実際とその効果
 - 4)-1 末梢性顔面神経麻痺リハビリテーションの実際
森嶋 直人 (豊橋市民病院リハビリテーションセンター)
 - 4)-2 理学的リハビリテーションの効果
立花 慶太 (大阪労災病院中央リハビリテーション部)
- 5) 中枢性顔面麻痺のリハビリテーション
栢森 良二 (帝京平成大学健康メディカル学部)

謝辞

共催

ニプロ株式会社
株式会社モリタ製作所

マルホ株式会社

機器展示

Audmet 株式会社ダイアテックカンパニー
永島医科器機株式会社
株式会社モリタ製作所

第一医科株式会社
ニプロ株式会社

書籍展示

株式会社新丸三書店

広告

社会医療法人 岡村一心堂病院
興和創薬株式会社
グラクソ・スミスクライン株式会社
日本光電工業株式会社
富士フィルム富山化学株式会社
株式会社モリタ製作所

杏林製薬株式会社
サノフィ株式会社
田辺三菱製薬株式会社
ノーベルファーマ株式会社
ブリストル・マイヤーズスクイブ株式会社
ユフ精器株式会社

協賛

愛媛大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室同門会（円通会）
日本耳鼻咽喉科学会愛媛県地方部会

寄付

一般財団法人積善会
医療法人聖光会
社会医療法人石川記念会
社会医療法人財団大樹会

医療法人鶯友会
医療法人伯鳳会
社会医療法人里仁会
耳鼻咽喉科サージッククリニック老木医院

医療法人順風会
医療法人和昌会
社会医療法人真泉会

令和 2 年 8 月 11 日現在
(五十音順)

本学会の開催にあたり、上記の皆様よりご協賛を賜りました。ここに深く感謝の意を表します。

第 43 回日本顔面神経学会 会長 羽藤 直人